

巻頭言

巻頭言 平成25年度総会を終えて

一般社団法人 大阪府作業療法士会 会長 長辻 永喜
(藍野大学)

さる6月1日(土)阿倍野市民学習センターにおきまして無事に社団法人最後の事業報告総会を滞りなく終了させていただきました。また一般社団法人として新たな出発となる記念すべき初めての定期総会として、研修会の後とはいえ多くの会員の参加を得てご審議をいただき誠にありがとうございました。

平成24年度は事業部で認知症支援プロジェクトを立ち上げました。イオンモールでのOT啓発活動をイオンモール鶴見リーファとイオン堺北花田で開催しました。次世代を担う若い世代への啓発として、中学校での職業講話を8箇所で行いました。バリアフリー2013での近畿作業療法士連絡協議会との有機的連携の下、セミナーをはじめ着実な啓発・推進活動を展開しました。発達部門では大阪市の特別支援教育に関するモデル事業を実施し平成25年度に活動を継続してまいります。各分野での研修会・講習会の開催でOT全体の底上げを図りました。第32回近畿作業療法学会・第28回大阪府作業療法学会は多くの会員を集め成功裡に終えることができました。種々の活動を滞りなく終え、一般社団法人への橋渡しを無事に完了いたしました。決算報告の中で新法人に基づく会計様式を用いましたが、あまりに専門的過ぎて活動の中身がわかりにくいと思われました。詳細は府士会HPの掲載することとし、従来通りの各部局別報告に回帰する方向で考えてまいります。

今回は新たな法人移行に伴い、役員の新補欠選挙を実施しました。定数の立候補をいただき、無

投票で新役員が加入されました。いずれも新たな人材として理事に加わっていただきました。認知症や特別支援教育など公的な活動が増えて行く中で、役員の新補充も急務と考えていただけに非常に良いタイミングとなりました。なお役員任期は、残り期間の引き継ぎとなりますので1年間です。平成26年の総会時に改選となります。

第29回大阪府作業療法学会会長は、大阪保健医療大学の吉田文さんをお願いいたしました。今後は次々期学会長も早期に決定いたします。

残念なことに、会費を納めていただけない会員の資格喪失を報告いたしました。専門職集団として、身分を守るの自分たちでしかないことに改めて認識を深めていただきたいと思います。他の職種はOTを守ってくれません。自分たちで職能を守り発展させてゆくために組織が必要です。そして「目指せ!公益社団法人」を合言葉に府士会の将来を託してゆきたいと考えています。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。府士会は作業療法士自身が積極的に自己の資質を高め、社会的な役割を果たしていく団体です。会員ひとりひとりの意識の向上と府士会活動への積極的参加が不可欠です。今後とも早期会費の納入をはじめとして各種の府士会活動へのご理解、ご協力を賜りますように重ねてお願い申し上げます。



総会時研修



平成25年度総会